

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2014年2月号>

83号 2014.02.03配信

今年に入り厳しい寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

明日は立春、春の訪れとともに光葉同窓会も昭和女子大学の同窓生が一段と輝けるよう、4つのネットワーク活動が一丸となって素敵なイベントを企画しております。春の学園の桜散策を兼ねて皆様お誘いあわせのうえお出かけなさってはいかがでしょうか。

## ■ 学園だより

### ● 東明忌

日 時 2月3日(月) 10:00~16:30 4日(火) 9:00~16:30

場 所 「先哲の碑」前(悪天候の場合は、学園本部館 1階ロビー)

2月4日は学父、人見圓吉先生が昭和49年に亡くなられてから40年になります。

## ■ 同窓会だより

● 光葉同窓会国内の49番目の支部として、世田谷支部が2月23日に発足します。

### ● 合同ワーキングネットワークご案内

昭和女子大学前副理事長の前原金一氏をお迎えして、「女性と仕事」についてご講演をいただきます。

また、小学校教職員ワーキングは、講演終了後に別室にて**激励会**を行います。昨年も多数の新教員になられる方々を先輩の同窓生が祝福し、エールを送りました。これから社会に出られる学生の皆様も是非ご参加くださいますよう心よりお待ちしております。

### 合同ワーキングネットワーク

日 時 : 2014年3月30日(日) 13:00~15:30

場 所 : 昭和女子大学 学園本部館3階大会議室および中会議室

第1部 講演会 13:00~14:10

「女性と仕事 ~女性はもっと活躍できる~」

講師 : 前原 金一氏

(昭和女子大学前副理事・、経済同友会副代表幹事・専務理事)

第2部 14:20~15:30

・フリートーク 前原氏を囲んで 意見交換会

・小学校教職員ネットワークは、春からの教員生活スタートに向けて~激励会

申込み : e-mail : [working@swu.ac.jp](mailto:working@swu.ac.jp)

FAX:03-3411-4066 (別紙に必要事項をご記入の上、お申込みください)

## ■広げよう光の葉

太田 妙子さん

1967年 短期大学部国文科卒業

### 『母の思いは今』

私は中等部から高等部、短大と8年間学ばせて頂きました。戦後生まれでベビーブームの先駆けからか、受験戦争を楽に乗り越えさせようと思う親の希望で大学まで整った学校を目指して受験勉強をさせられました。そして目指す学校を探すことになり家庭教師のお姉様が昭和女子大出身者と紹介された母は学校見学に伺った様です。

校門を入ると生徒達が来客者に軽く会釈をされ、木造校舎の床でスリッパを履かない母の白足袋の裏が汚れることなく歩け、お手洗いなどがとてもきれいだったと帰って来て話してくれました。女の子だからそんな環境の中で学ばせたかったのでしょうか。

母の遺品の中から当時の入試問題をメモした手帳の切れ端が見つかり、私が受験中に外で待ちながら、どんな思いでメモしていたのか痛い程わかりました。お蔭で何とか合格出来、高校、短大とエスカレーターとまではいきませんが進学することができました。無事卒業して就職、その後結婚、出産、育児と国文科卒とは全く関係のない人生を送ってきました。

20数年前、夫の海外勤務と時期を同じくしてクイズに当って海外渡航に目覚め今年52回目の海外旅行を2人で行ってきました。「清き気品、篤き至誠、高き識見」の学風のお蔭で、どの国に行ってもどの国の人に逢っても、ものおじしない姿勢、態度は“昭和”で培ったものだと思います。

唯、“昭和”で学んだ中で唯一の困り事は、今もってひとりで繁華街・映画・喫茶店へ行けないことです。私が学んだ当時は当たり前のことでしたが、この話を先日他県の支部会に出席させて頂いた時、中・高等部出身者の方にお話したところ私と同じ思いをされて居られたのでしょうか、思わずうなずきあったものでした。

自分の子育ての間、忙しさにかまけ心のゆとりがなくて伝えられなかった事を、今孫に伝えるべくイク婆（育婆）の真っ最中、国文科卒がやっと役立ち、受け継がれたのか孫娘は本が好き、書く事が好きなようです、そして夫が理系、私は文系と少しずつ興味を持たせる様に誘導しています。

50歳の若さで亡くなった母は和裁のプロでした。何故もっと学んでおけばと悔やみ、孫に着物を着せたい一心で、ここ10年和裁を習って来ました。宮参りの着物には間に合いませんでしたが、七五三の晴れ着を縫い、着せてお参りする事が出来ました。あとは成人式の晴れ着が縫える様、元気でボケないことが私の今の目標、少しずつ古い仕度を始めました。

End